

学校教育目標			めざす生徒の姿（中期的目標）	総合評価					
『自己を見つめ、友と協力して 明るく逞しく生き抜く生徒』			主体性・自主性をもって創造・挑戦する生徒						
			○主体的に学びに向かう生徒						
			○自分の考えをもち、協働的に他と関わる生徒						
			○自分で自分の生き方を決め、社会的に自立できる生徒						
			今年度の重点目標						
四中プライド 「主人公として生きる」			①主体的に学びに向かう力を育む(単元テスト、四中アカデミー)	成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
			②協働的に他と関わる力を育む(クリエイティブタイム・人権教育)						
			③社会的に自立できる力を育む(不応生支援・3本柱)						
			④開かれた学校づくり(通信、HP、地域・保護者連携)						
領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
教育活動	① 主体的な学び	課題が明確で学びやすい授業の改善	学習内容や課題がわかりやすい授業を展開している。						
		主体的な学びの喚起	単元テストや四中アカデミーなど、生徒が自ら課題や目標をもって学びやすい環境を整えている。						
		学びのスタイルの改善と定着	チャイム着席、話を聞く、考えを共有、学習サイクルを意識した授業づくりをしている。						
	② 協働的に他と関わる力	生徒自らが考え創造する活動	四中クリエイティブタイムの活動の時間等で、生徒の主体的な学びの機会を保障・支援している。						
		生徒会活動/部活動の充実	生徒が主体的に活動を企画・運営・実践できるような機会や場面を設定し、多くの生徒が「四中生で良かった」と感じられるような活動の支援をしている。						
		生徒の主体的な活動を支えるチーム支援	生徒全員へ全職員が関わるよう、学年担任制を生かし、教師間で連携を密に取り合いながら支援している。						
	③ 社会的に自立できる力	一人ひとりに寄り添った支援	全ての生徒が安心して過ごせるよう、より多くの職員が生徒を見守り、声を聴き、その心に寄り添った支援を心掛けている。						
		「三本柱」の発展	四中プライドを築く「あいさつ」「清掃」「合唱」の三本柱を、生徒が主体的に取り組もうとすることができるよう、共に取り組みながら助言している。						
		自己肯定感を持たせる支援	日頃から生徒の良さを認めたり、「わかった」「できた」という実感が得られ、「さらに学びたい」「もっとやってみたい」という意欲を生み出すための支援・評価をしている。						
学校運営	④ 開かれた学校づくり	情報発信の充実	学校だよりや学年・学級通信、学校ホームページで学校の情報を地域・保護者に発信している。						
		地域との連携の強化	四中アカデミーや学校運営協議会・PTA活動などで、保護者・地域の方の支援や意見を学校運営に生かしている。						